

第14回京北地域小中一貫教育校検討協議会摘録

- 日時 令和元年6月14日(金) 19:30～21:00
- 場所 京北合同庁舎 大会議室
- 出席者 検討協議会メンバー22名(2名欠席) オブザーバー4名(右京区役所京北出張所長, 周山保育所長, ひかり保育所長, 弓削保育所長) 事務局及び関係職員等21名
- 傍聴者 0名
- 配布資料 **資料1** 令和元年度 京北地域小中一貫教育校検討協議会名簿
資料2 京北地域小中一貫教育校検討協議会規約の一部改正について(案)
資料3 第13回(3月15日)の協議内容
資料4 令和元年度の取組予定等について(案)
資料5 校歌(歌詞)について
資料6 建築工事の状況等について(令和元年5月末時点)
資料7 通学シミュレーションの実施について

□議事要旨

1 開会

2 検討協議会構成について

資料1の検討協議会名簿に基づき自己紹介が行われ、今年度、京北自治振興会役員及び6自治会役員、PTA役員並びに学校の人事異動により新たに参画されるメンバーを確認した。

また、今回、オブザーバーとして参画された右京区役所京北出張所長、周山保育所長、ひかり保育所長、弓削保育所長の自己紹介が行われた。

3 京北地域小中一貫教育校検討協議会規約の一部改正について(案)

京北地域小中一貫教育校検討協議会規約の一部改正(案)について、**資料2**に基づき教育委員会から説明を行い、特に異論なく承認され、新たに周山中学校の30年度PTA副会長1名が検討協議会の会員として選出された。

<説明>

- 改正趣旨としては2点あり、1点目は新校の校名が「京都市立京都京北小中学校」に決定したため、検討協議会の名称を「京都京北小中学校検討協議会」に変更するもの。
- 2点目は、本協議会の会員となるPTA代表者は現行規約上、前年度及び当該年度の各校PTA会長であり、これまで1校につき2名の代表者が参画していたが、今年度は周山中学校PTA会長が、前年度・当該年度で同一者となったため、負担軽減を図る観点から、前年度及び当該年度のPTA会長が同一者の場合に限り、PTA本部役員から新たに1名を選出できるようにするものである。なお、新たに選出される委員の任期については、今年度末までとする。

<質疑応答>

なし

<確認・決定事項>

- 京北地域小中一貫教育校検討協議会規約の一部改正（案）を承認する。
- 周山中学校PTA会長により、30年度PTA副会長1名が選出された。

4 前回の協議内容の確認

前回の協議内容について、**資料3**に基づき、教育委員会から説明を行い、確認された。

5 令和元年度の取組予定等について（案）

令和元年度の京都京北小中学校創設に向けた取組予定等について、**資料4**に基づき教育委員会から説明を行った。

<説明>

- 今年度は今回を含め、計4回の検討協議会の開催を予定している。検討協議会では、新校の校歌・校章の検討のほか、施設整備、通学安全に係る取組状況や、教育構想に係る進ちよく状況の確認、4小中学校PTA会長会の取組（新校PTA組織等）状況、学校説明会及び閉校式・開校式の開催など、開校に向けた取組状況の報告を行う。
- 校歌については、今回の検討協議会で歌詞の承認をいただければ、教育委員会から専門家に作曲依頼を行い、10月に開催予定の検討協議会で提案する予定である。また、11月には新校開校に向けた学校説明会を実施する予定である。
- 新校の開校を見据えて、今年度も3小学校による合同学習の取組や、周山中学校での4小中学校9学年の合同学習を予定しており、昨年度に引き続き、新校へのスムーズな移行が行えるよう、児童生徒間・学校間の交流を深めていく。

<質疑応答>

なし

<確認・決定事項>

京都京北小中学校創設に向け、令和元年度は**資料4**のとおり取組を進めることとする。

6 校歌（歌詞）について

校歌（歌詞）について、**資料5**に基づき、作詞者の久保正鳳氏から説明を行った。

<説明>

- この度、新校の校歌作詞者として指名いただき大変光栄である。作詞にあたっては、新校で子どもたちが伸び伸びと健やかに育つ姿をイメージし、多くの関係者の助言等も踏まえながら作成した。歌詞は3番まであり、七・五調で構成している。
- 1番の歌詞については、朝日を浴びて、若い芽がいきいきと躍動する中、子どもたちが新しい学校で学ぶ喜びや希望に溢れ、大きな志を持って誠実に生きる道を学ぶ姿や、京北の希望の

丘にそびえている素晴らしい学校の姿を表現している。

- 2番の歌詞については、美しい山を仰ぎながら、大堰川の水が清らかに流れる京北の姿を描き、人と自然が輝くこの街で、友達と仲良く、共に励み合いながら自律の力を身につけるよう励む姿を表現している。また、「共に磨かん若人の進む行く手に光あれ」は、現周山中学校の校歌の一部を引用している。
- 3番の歌詞については、新校の校舎は、白鳳の時代にこの地域が非常に栄えた歴史を物語る周山廃寺の遺跡の地に建てられていることを描いており、京北の発展の魁となった尊き歴史に学び、無限に広がる未知の世界に思い切り羽ばたく姿や、子どもたちの希望に満ちた明るい歌声が響き合う、元気一杯の京都京北小中学校の姿を表現している。

<質疑応答>

- 久保正鳳氏に非常に労力をかけて作詞いただいたことに感謝申し上げます。美しい京北の地域で健やかに育つ子どもの姿が表現された素晴らしい歌詞であり、1年生から9年生までの子どもたちが親しみを持って歌ってくれることを期待する。

<確認・決定事項>

- 校歌の歌詞は資料5のとおりとする。
- 作曲は、教育委員会から、専門家（京都市立学校の音楽科専門教員）に依頼し、第15回検討協議会（10月頃開催予定）において試作曲を聴き、決定する。

7 施設整備について

施設整備の進捗よく状況について、資料6に基づき、教育委員会から報告を行った。

<報告>

- 建築工場の状況は、西側から始まった基礎工事が敷地全体まで進んでおり、現在は西側から上部躯体工事が始まっている。建築工場の5月末時点での進捗率は約15%であり、当初計画どおりに順調に進んでいる。
- 土木工場の状況は、現在第2・3工区の法面対策工事に着手しており、樹木等の伐採を終え、これから掘削工事等を進めていくところである。また、ロータリーの整備工事については、6月以降に着手の予定である。
- 前回の検討協議会で要望のあった工事現場の見学会の実施については、タワークレーンが頭上で稼働中に工事敷地に入ることは危険が伴うため、秋頃の躯体が立ち上がり内装工事に移行する時点で、検討協議会委員を対象とした建物内の見学会の実施を検討している。
- 新校舎建設予定地に周山廃寺西堂の礎石が発見されたことに伴い、一部基礎工場の工法の変更や仮設計画の変更等とあわせて工事費の増額の契約変更について5月市会に提案し、市会の議決をいただいたので報告する。

<質疑応答>

- 隣接する周山中学校の教育活動への影響は出ていないか。今後着手されるロータリーの整備工事についても、事故はもとより周辺地域への支障が出ないように、教育委員会において十分に

工事業者への指導や管理監督を行ってほしい。

→ (周山中学校長) 中学校の教育活動中においては、工事業者と調整の上、騒音の伴う工事は控えてもらっている。本日も合同学習で音楽祭があったが、柔軟に対応いただいたところであり、引き続き、教育活動に影響が生じないよう調整していく。

→ (教育委員会) ロータリー整備工事についても、安全第一で考え、工事業者や学校、地域の方々の意見を伺いながら、丁寧に工事を進めていく。

8 通学シミュレーションの実施について

6月14日(金)に実施した通学シミュレーションの状況について、資料7に基づき、教育委員会から報告を行った。

<報告>

- 昨年度は登校シミュレーションを3回実施したが、今年度は登校時に加えて下校時のシミュレーションも実施し、来年4月開校時の運行方法、運行時刻などの検討事項を確定していく。
- 実施については、学校で合同学習を実施する機会を活用しており、本日実施された合同学習に合わせて、第4回の通学シミュレーションを実施したところである。
- 本日のシミュレーションでは、京北第一小学校の一部地域の児童が、登校時に、新たにバス乗車したが、その他の学校・地域では、昨年度と同様の方法で実施した。
- 下校時のシミュレーションは今回が初めての実施であった。具体的には、小学生及び部活動のない中学生が16時台の路線バス及びスクールバスで下校し、開校時の運行方法を見据えたシミュレーションを実施した。
- 本日の実施結果としては、全体的には円滑に実施できたが、一部の路線において、登校時の学校への到着時間及び下校時の子どもが下車するバス停への到着時間に若干の遅延があった。これから関係者に意見を伺い、検証し、次回以降の実施に生かしていきたい。
- また、通学路の安全対策として、各校で改善が必要と考えられる点を検討しており、バス停や学校付近の安全対策等について、引き続き、関係機関への働きかけを行いたい。

<質疑応答>

- 弓削保育所からは3名が新校に入学予定であり、保護者からは新しい学校で、通学時を含め上級生が面倒を見てくれることを期待し、心と体が元気に育ってほしいと期待の声を聞いている。
 - 周山保育所では、地域に散歩に出る際、ガードレールがなく白線のみ歩道を通る必要がある場合は、特に注意を払って子どもの安全確認を行っている。
 - 開校後のバス運行について、中学校では土日にも部活動を行っており、現在は主に保護者が送迎している実態がある。今後、バス事業者と運行ダイヤ等の設定に関して協議等を行う際は、土日の送迎も含め、保護者負担軽減の観点も含めて検討をお願いしたい。
- (教育委員会) 部活動に配慮した運行時間については、今後、バス事業者と協議していく。
- 弓削線でシミュレーションを行った中学生に対して「バスに座れたかどうか」を質問したら、「全区間で立ったままの乗車であった」と聞いた。小学生が優先であることは理解できるが、中学生が全区間で立ったまま通学というのは安全上の課題があるのではないか。

- (京北第三小学校長) 本日の弓削線のシミュレーションでは、空席があったが中学生は立っている状況であった。
- (周山中学校長) バスの定員上、余裕がある状況ではないが、中学生の中にはシミュレーションで緊張している生徒や、小学生が同乗するので遠慮して空席でも座らない生徒がおり、通路が狭くなる状況もあったと聞いている。今後、空席のある際は積極的に座るように指導していきたい。
- (教育委員会) 登校時のバスについては、学校に近づくほど乗車人数が増えるため、終点付近では中学生には立っていただくこともあるが、全区間で立たなければならないような状況ではない。空席時には積極的に座っていただくなど、負担軽減を図れるよう工夫していきたい。
- 京北第三小学校区(弓削線)の一部のバス停付近の道路について、路側帯が非常に狭く子どもが歩くには危険と思われる箇所があった。迂回路もあるが非常に遠回りになるため、バス事業者とも安全対策について協議してほしい。
- 本日の登校時のシミュレーションで、本来、田貫線のバスに乗車すべき子どもの一部が乗車できず、弓削線のバスに乗って登校していた。シミュレーションであったため速やかに対応できたが、今後、バス事業者とも協議の上、しっかりと改善を図ってほしい。
- 城山地区の子どもは本日のシミュレーションで初めてバス乗車したが、バス停に向かう際の国道477号線の歩道が狭い箇所があり、ガードレールの設置など安全対策を検討してほしい。
- 通学路全域は困難かもしれないが、多くの子どもがバス乗車する付近は、ガードレールの設置等の安全対策を検討してほしい。
- (教育委員会) これまでからお聞きしている御意見も含め、バス事業者をはじめ、警察や土木事務所等の関係機関と協議していきたい。
- 五本松地区及び城山地区の子どもは、現在はバス乗車していないが、開校後はバス乗車する方向性であるのか。バス停付近には人通りが少なく安全性に課題のある道路もあるため、バス乗車するのであれば、集合場所等について保護者の意見も聞いて慎重に検討してほしい。
- (教育委員会) 五本松地区及び城山地区については、今回、試行的に乗車いただいたものであり、今後、保護者等とも相談しながら開校後の乗車の有無等について検討していきたい。
- 災害発生時の対応について、バスの運行も含めどのように検討しているか教えてほしい。
- (京北第二小学校長) 子どもが在校時に暴風警報等が発令された際は、通学路の安全確保が完了するまでは学校待機し、安全確認後、バス事業者と調整のうえ、速やかに下校する。通学路に危険箇所がある場合は、保護者に迎えに来ていただく等の協力をお願いする。
- (教育委員会) 新校での防災計画はこれから策定する段階であるが、バスの運行の有無が重要であることは認識しており、災害の発生時刻等に合わせて対応をパターン化して示すなど、早期に調整していきたい。
- 京北第一小学校や周山中学校の校区には、徒歩で通学する子どもが多くいるため、安全対策の徹底や積雪時の通学路の除雪をお願いしたい。また、京都市域に警報等が発令された際、市内中心部と京北地域では状況が全く異なることもあるため、一律のルールではなく、地域実態に応じた柔軟な運用をお願いしたい。

9 その他

- 前回に要望していた周山中学校の既存グラウンドの修繕についての検討状況を教えてほしい。
→ (教育委員会) 4点の要望をお伺いしていたが、①第一グラウンドへのベンチ設置については、現在、建築基準法などの基準などにも照らしながら屋根付のベンチを設置する方向で周山中学校と調整中である。②グラウンド北側の鹿除けフェンス設置及び③グラウンド東側の土砂撤去等については、開校後、令和2年度に予定しているサブグラウンドや駐車場等の整備工事の中で実施予定である。④グラウンド芝生の整備方針については、補助金を活用して整備した芝生のため、撤去しないことを前提に、学校の希望を聞きながら調整する予定である。

10 次回の開催について

第15回検討協議会は10月頃に開催する。日程等が決まれば、案内文を配布する。